

春ノ四表

たるまへに梅　むめゝの咲　さきゝたるところをかゝれ
ければ

とめこかしむめさかりなるわが宿　やどゝを

うときも人はおりにこそよれ

・華　はな　さきみだれたるしたにゐて月を詠　ながゝ
むるおとこ

雲にまがふ花の下にてれ詠れは

おぼろに月はみゆるなりけり

・夏　なつ　のはじめほととぎすをたづねて山田　だゝの